

事業名	水産資源調査・評価推進委託事業(卵稚仔調査)
予算区分	受託研究費
事業実施期間	令和6年(継続実施)
担当者	木本翔、住友寿明、石川陽子、三好亮徳、松本一樹、藤岡保史、 渋江文、丸龍岬太、立石岳人
共同研究機関等	水産資源調査・評価推進委託事業共同実施機関

〈目的〉

国連海洋法条約の発効に伴い、我が国周辺水域内の水産資源の有効利用及び管理を行うために必要な情報を収集することを目的とし、水産資源調査・評価推進委託事業の一環として、いわし類、マアジ、さば類の卵稚仔量を調査した。

〈方法〉

播磨灘海区2定点、紀伊水道海区12定点、海部沿岸海区12定点では毎月(1月を除く)、海部沖合海区3定点では5月、11月、3月に調査を実施した。各調査定点において、改良型ノルパックネット(口径45cm、高さ180cm、目合0.335mm)を垂直曳きし、卵稚仔を採取した。採取した卵稚仔量及び種の査定は、マリノリサーチ株式会社に委託し、査定結果を元に、各調査定点における種ごとの平均卵稚仔量の平均値を算出した。なお、調査定点を図1に、各調査定点における調査水深を図2に示した。

〈結果〉

各調査定点において採取された種ごとの平均卵稚仔量を表1に示した。

〈今後の課題〉

特になし。

〈次年度の計画〉

継続する。

